

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 2 年度第 5 回 富士見市産業振興審議会 議事録</p>						
日 時	令和 3 年 3 月 2 4 日 (水)		開会	午後 1 時 1 5 分		
			閉会	午後 3 時		
場 所	中央図書館 集会室					
出席者	委 員	猪瀬委員	西本委員	門脇委員	田中委員	寺沢委員
		○	○	○	○	○
		徳田委員	竹内委員	田坂委員	横山委員	
		欠	○	○	欠	
事務局	産業振興課 落合部長、佐々木課長、吉野副課長、横田副課長、瀬戸主任					
公 開 ・ 非 公 開	公開 (傍聴者なし)					
議 題	1 開 会 2 審議事項 3 閉 会					
議 事 内 容						
事務局	1 開 会 2 審議事項 ① 富士見市第 3 次商業活性化ビジョンについて 事務局より資料に沿って富士見市第 3 次商業活性化ビジョン (案) について説明。 先日実施したパブリックコメントでは、ご意見等無しという結果であった。					

会 長	委員の皆さんから、完成したビジョンへのご意見や感想を伺いたい。
委 員	各アクションプランについて行動指針を決めるためにも KPI があつたほうが良いのではないか。具体的なパーセンテージを明示することで結果が分かりやすくなるのではないか。
事務局	産業振興基金を活用した事業など、数値目標を立てているものもある。既に数値目標化している事業を参考に、具体的に事業を進める中で検討していきたい。
会 長	本ビジョンは商業者の自主的な活動も重要なため、行政だけでは達成が出来ないアクションプランも多い。今後立ち上げる個別の取り組みの中で具体的な目標を立てられると良い。 将来像についてはどうか。今回は、「伴に奏であう」「伴に走る」、という意味で伴走と伴奏の二つの意味が込められているが、どう感じているか。
事務局	審議会の中でいただいたご意見もふまえて、行政が更なる伴走型支援を進めていくという想いと、事業者との協力・連携・それぞれの持ち味を活かして調和していく伴奏型の計画推進を目指していきたいという想いを込めさせていただいた。
委 員	ビジョンに掲げられているアクションプランは、ハードルが高い面もある。行政や商業者、市民といった各主体をどのように繋げていくかが課題でもあるため、伴に奏でるといった面を連携支援というかたちで示していけると良い。
会 長	横断的に、各主体が集まって意見を交わせる場があると良い。
事務局	市民に向けては、出前講座などを活用してプランの説明をしていくことも考えている。
会 長	長期的に市の将来を考えていくと、元気な事業者が増えていくことは、市民の普段の買い物の場の充実や、税収の面でも、行政・事業者・市民それぞれにとってメリットがある。
事務局	今後、産業団地の誘致などの計画もあり、商業・工業の更なる活性化に繋げていきたいと考えている。
委 員	小さな商店会などは、アクションプランとどう結び付けていくかこれからの課題になると思う。また高齢化が進んでいることもあり、個店の課題となっている。
事務局	個店同士のつながりや、個店を含む商店会、各地域については行政も商業者同士や商業者との連携を今後も支援していく。
委 員	ハーモニーという表現は馴染みやすく良いと思う。また、市民参加できる事業などを通して、消費者としてアクションプランに関わることができる面も良いと思う。
委 員	審議会に参加したことで、自分の店以外について考えるいい機会にもなった。チラシやソーシャルメディア、ホームページを使って告知することの大切さ、周囲の店はこの状況でどのようにしているのか、市からどんな支援が受けられるのかを改めて知ることができた。地域で、ご高齢の経営者にも伝えていきたい。
委 員	コロナ禍で、売上が減少した時期もあつたが、自宅で食事を取る方が増えていることもあつてか、若いファミリー層など、新たな顧客との出会いにも繋がったほか、一度立ち止まり、商売そのもののやりがいなどにも向き合うことが出来た。

	<p>新規事業、新規顧客の獲得のために、新たな取り組みなどを試みる るときなど、自分だけの知識では力不足になることがある。 事業者自身も行政の制度など、よく確認しておく必要がある。 審議会に参画したことで得た情報を、できる限り多くの事業者へ 伝えていきたい。</p>
会 長	<p>コロナ渦で、どの事業者も情報の発信力を高めていく必要がある と感じていると思う。チャレンジ支援事業補助金など、ホームペー ジの作成に活用できる既存の補助金もある。ぜひ効果的に周知して いただきたい。</p>
委 員	<p>農業者も事業者も力を合わせ、アクションプランの達成ができる よう頑張っていきたい。</p>
委 員	<p>市には、縄文海進、梅恋花など、市のお米や梅を使った素晴らしい お酒がある。今後も認知度の向上に力を入れ、贈り物などにも活 用していただきたい。</p> <p>また、梅恋花などは梅の収穫も市民参加を募り、酒蔵見学もする などして製造工程をお見せしている。富士見市の米は品質も良いと いうことを含めて、商品の良さをもっとPRしていきたい。</p>
委 員	<p>今後、行政としても人口の減少に歯止めをかけるためにも産業分 野に力を入れていかざるを得ない場面がくると思う。テレビなどで 特集されるような、話題性のあるムーブメントを起こしていけると 良い。</p>
委 員	<p>先ほど、ビジョンの達成はハードルが高いと述べたが、言い換え れば、達成できると大きく富士見市の産業振興が進むと感じてい る。他の委員も述べているように、せっかく良い制度、商品、個店 があるのにも関わらず、市民は知らないということも多いため周知 を工夫していただきたい。</p>
事務局	<p>いかに関心を持っていただくかは行政の施策の課題である。今ま でのやり方だけではなく、新たにいろいろな形でPRの機会を増やし ていきたいと考えている。</p>
会 長	<p>事業所が少なく、働ける場所も少なかった富士見市が、ららぽー との進出により少なからず影響を受け、変化してきている。 行政としての情報発信だけではなく、委員皆様お一人お一人が 様々な場で情報を発信していただくと大変うれしく思う。 委員の皆様については、審議にご協力いただき、ありがとうございます。 今後市長に本ビジョン案をもって答申を行います。 大変お疲れ様でした。</p> <p>3 閉 会</p>